



東京全労協

2013年7月22日 57
 東京都港区新橋6-7-1
 川口ビル6F
 TEL. 03 - 5403 - 1650
 FAX. 03 - 5403 - 1653
 発行人 瀬藤 朗
 定価 1部 10円

6・26 第153回東京総行動

スタートは
 郵政本社前から

6月26日、今年2回目の
 けんり総行動実行委員会・
 瀬藤朗代表（東京全労協議
 長）による6・26東京総行
 動が取り組まれました。

今回の総行動は5月15日
 に行われた東京高裁・地裁
 に対する抗議・請願行動を
 取り組んだ「首切り自由を
 許さない！霞が関大行動」
 の成功を引き継いで行われ



スタート集會に結集した仲間（2013年6月26日）

たものでした。

前回の2月15日と同様に、

今回も日本郵政本社前から
 のスタートとなりました。

約100名が参加した郵
 政本社前集會ではまず瀬藤
 代表が主催者を代表してあ
 いさつを行いました。挨拶
 の中で東京総行動が41年の
 歴史を有し、今年42年目に
 突入した闘いの意義を述べ
 るとともに、今日の安倍政
 権の下での労働法制の規制
 緩和、首切り自由の流れに

抗する闘いの重要性を指摘
 しました。

続いての不当解雇と闘う
 JAL本社前集會では参加
 者を200名になりました。

次第に雨も激しくなり、こ
 の日の総行動は「恒例」の
 「雨の東京総行動」となり
 ました。

フジビは
 解雇を撤回せよ！

今回から初めて行動に参
 加した偽装倒産・解雇と闘
 う東京労組フジビグループ
 分会の富士美術印刷への抗
 議・要請行動が取り組まれ
 ました。西日暮里の工場敷
 地内での集會は分會員を先
 頭に果敢に行われました。

昼に厚生労働省前での集
 會を経て、夕方のトヨタ本
 社前での集會まで総行動は
 雨の中、貫徹されました。
 この日の行動は厚生労働省、
 総務省、東京都庁と11の会
 社への抗議・要請行動が取
 り組まれました。

夏季合宿の開催

けんり総行動実行委員会
 は8月31日～9月1日の2
 日間の日程で夏季合宿を開
 催し、体制の強化と運動の
 発展をめざしながら、秋の
 取り組みに向けて準備を進
 めていきます。

被爆68周年原水禁世界大会開催 7・28福島大会に参加を！！

福島大会 「福島原発事故の現状と課題」

日時：7月28日（日）

場所：福島県教育会館（福島市上浜町10-36）

<集會> 13:00（開場）

- (1) 黙禱
- (2) 主催者あいさつ
- (3) 地元あいさつ
- (4) 大会基調提起
- (5) 福島現地報告
- (6) 講演1 「フクシマとオキナワ～国策のゆくえ」
 講師 高橋哲哉さん（東京大学教授・哲学者）
- 講演2 「ヒロシマとフクシマ」
 講師 森滝春子さん（広島・核兵器廃絶を
 めざすヒロシマの会共同代表）
- (7) 各地報告 秋期以降の再稼働問題等
- (8) 特別アピール・地元福島から連帯アピール他行動の提起
- (9) 福島大会・アピール
- (10) 閉会あいさつ

<デモ>

15:40 福島県教育会館～16:30 JR福島駅前（流れ解散）

原水禁世界大会は、東日本大震災での福島第1原発事故を契機に福島大会が加わり今年も同様に行われます。東京全労協は2011年から続き、今年も福島大会に参加をします。

福島第1原発の状況は、いまだ収束にほど遠い状況です。現在も大量の放射性物質が環境に漏れ続け、さまざまな形で、周辺住民を含めて、広範に被害を広げています。

さらに被ばく労働の現実と甲状腺被ばくの実態が明らかになっています。しかし、安倍政権は、福島県民をはじめ多くの脱原発への思いを踏みにじり、原発の輸出や再稼働を強行しようとしています。

私たちは、福島第1原発事故の現状と課題を考え、事故の風化を許さず安倍政権に抗して、脱原発社会を実現していかなければなりません。

被爆68周年原水禁福島大会の参加を呼びかけます



練馬全労協第19回大会開催 新たな闘いに向け団結!

練馬全労協第19回大会が7月9日練馬勤労福祉会館において開催されました。18時半から代議員44名が参加し、大会議長には東水

波議長から、情勢は我々に有利に展開しているとは言えないが、練馬では脱原発をはじめ労働法制の改善

など様々な問題に取り組みしてきた。しかし、取り残されてきた問題もある。他区に先駆けて取り組んで来た公

契約条例問題がある。運動としては古い、先に成立させている自治体もいくつ

か出てきている。今年、来年中には成立させていきたく

い、と挨拶がありました。

来賓として来て頂きました東京全労協の久保事務局

長からは、練馬全労協は地区全労協として東京23区唯

一頑張る存在を示してくれている。東京全労協としても他区でも作る努力を



しているが、まだ実現していない。練馬の努力を上げていきたいと挨拶ありました。

続いて練馬区労協の山本議長からは、組織は年々縮小の傾向にあるがまだまだやり残したしていること

はある。公契約条例は区長の姿勢にもあるが、組織も新たに

立て直して取組んでいる、是非練馬でも成立を目指して

頑張りたい。と挨拶があり、東京土建からも、公契約

条例実現へそれぞれの力を合わせていこうと挨拶がありました。

そのあと、真下事務局長から一年間の経過報告があり、会計決算報告と続きま

した。三沢副議長から、今年度の方針が提起され予算

とともに承認されました。

参加各組合の練馬区職労、練馬清掃、東水労、N関労、

郵産ユニオン、練馬地域ユニオン、練馬区非常勤組合

からそれぞれの現状や課題、取り組みについての報告がありました。

最後に新旧役員を代表して南波議長から13年間議長として多くのことを勉強させてもらった。これから

練馬とは運動でつながっていきたくと挨拶が述べられました。

三沢新議長からは、今はいいことはないかも知れないが、私達が今声を出していかなければ確実に世の中

は悪くなっていく、頑張つて大きな声を出していこうと訴え団結ガンバローを三

唱して大会は終了しました。

職場に根ざしてTPP反対・改憲阻止の運動を展開

南部全労協は、今年も電検労と共に「南部権利春闘」を発足させ闘う体制を作っています。

職場に根ざしてTPP反対・改憲阻止の運動を展開 南部全労協活動の報告

3月19日に行われた郵政産業労働者ユニオンのストライキにおいて今年の拠点

職場である蒲田局前でのストライキ支援、突入集会に

結果しました。昨年のデイベンロイ労組では工場閉鎖

に対する闘いは、東京都労働委員会における闘いによつて

工場労働者の不当解雇は阻止しましたが、その後会

社側は労働組合敵視の姿勢を強めています。営業部における不払い残業代につい

ても、会社側は「支払うお金がないので、資材を売ったお金13万8400円を払うので裁判を取り下げる」

などの嫌がらせ攻撃が行われましたが、4名の組合員の決起によって裁判闘争が行われています。

公務職場においては、消費税値上げを前にして震災を口実にした賃金下げ攻撃が行われようとしていま

すが、国の圧力を跳ね返し、7月実施を阻止しました。また、品川駅南口において毎月行われているJAL不当解雇撤回の情宣行動にも参加しています。

4月24日各職場の闘争報告と労働者の仕事・くらしを直撃するTPP反対をテーマに春闘集会を南部労政会館において行いました。集会では、各職場からの報告として、郵政産業労働者ユニオンからストライキ報告、

デイベンロイ労組から会社側の攻撃に対する闘いの報告、東水からは賃金下げや、都水道局による外注化攻撃への闘いの報告が行われました。

そして、全国一般なんぶの組合員でもあった高橋巖日本大学生物資源科学部教授から「TPPと私達の未来」自治とセーフティーネットを守るために」と題した講演が行われました。

「TPPを一言で言うとおよそ人間の生活の全ての領域に関わる協定である農業・農村だけの問題ではない。これまでの国の枠組み、法制度、私達の生活のあり方、働き方、環境の全てを激変させる、従来にない凄まじい威力を持つ協定である。そしてその激変は、一般の労働者・市民にとってほとんど全ての現状を改悪することに他ならない」と

して、この攻撃の持つ意味をわかりやすく具体的に話されました。

今後の私達の生活と労働を激変するTPPへ日本政



3.19郵産ユニオンのストに結集した南部全労協の仲間(2013年3月19日)

長野戦跡「松代大本営」「無言館」フィールドワークに参加しよう! 2013年9月7日(土)~8日(日)

東京全労協は、大会議案書討論の合宿を反戦・反基地学習会や東日本大震災の被災地支援行動と合わせて行ってきました。昨年の館山戦跡(壕)を学習する中で、沖縄戦から本土決戦につながっていく「松代大本営跡」を是非学習したいとの意見が出されました。今回は、出された意見を踏まえ、学習交流会を独立させて実施することとしました。

「松代大本営」は、第二次世界大戦の末期、軍部が本土決戦最後の拠点として、極秘のうちに、「国体護持(天皇を頂点とする国家体制の維持)」、政府各省等をこの地に移すという計画のもとに、多くの朝鮮人が強制連行され、工事労働の強制や、「慰安婦」の強制が行われた場所です。

「無言館」は、戦没画学生たちの遺作となった絵画・作品・絵の道具・手紙などを専門に収蔵展示しています。芸術の才能を花開かせる前に戦場で散った画学生の作品等を学習します。

参加希望者は、各ブロック全労協を通じて申し込みを行って下さい。



集会は続いてJALの不当解雇撤回への参加が当該から呼びかけられ、まとめの提起のあと電検労の委員長が団結がんばろうをおこない終わりました。

南部全労協は、南部権利春闘に結集する労働者とともに、引き続き、憲法改悪反対、TPP反対、労働者の権利と生活を守る闘いに各職場に根ざした闘いを展開しています。